

一貫生産に向け 新工場へ集約化 働きやすい環境を整える

戸出化成株式会社
代表取締役社長

高畑 敏夫 氏



昨年9月、高岡砺波スマートインターチェンジ前に、本社工場を新築移転されました。

高岡市が新たな産業団地を造成するという話を受け、第1号に手を挙げました。戸出と砺波に3つあった工場を1カ所に集約し、旧西工場は物流センターとしました。本社の移転は、後継者候補でもある高畑周作専務が将来へ向け強い意志を示してくれたので、決断し

ました。

創業からの沿革を教えてください。

母の高畑幸子が1967（昭和42）年に高畑研磨工業所を始めました。農協の婦人部や婦人会の世話をしており、農家の女性達の稼ぎにと、高陵プラスチック工業(株)やワシアルミ(株)（現三協ワシメタル）の鍋製品のプレス加工やバフ仕上げの仕事をお願いしました。

75年に射出成形機を一台導入し、

プラスチック成形を始めました。立山アルミニウム工業(株)（現三協立山）から仕事を頂くとともに、機械の操作を教わりました。その時、教えてくれたのが当社現会長の浜谷海輝夫で、77年に専務として迎え入れ、私も入社し、戸出化成として法人化しました。三協アルミニウム工業、立山アルミニウム工業の両社には、アルミサッシに使う樹脂パーツの仕事を頂き、育ててもらいました。

現在の事業構成をお伺いします。

平成に入ると住宅着工数が減少し、窓も小型化していきました。カラーバリエーションが増え、小ロット多品種に対応する一方、新規分野への進出を目指して営業技術課を新設し、提案営業を強化しました。その取り組みが徐々に育ち、今ではバスや新幹線のシートの部品、産業機械のカバーなども手がけています。

売上比率は、建材分野が約60%、金型が約20%、車両向け部品や電子部品が15%、ほか機械部品などです。

— 循環型社会へ通じる開発 —

昨年、「世界初のフライアッシュ充填プラスチック敷板の開発」で、中部科学技術センターから奨励賞を受賞されました。どのようなものですか。

2013年に立ち上げた研究開発のための子会社、戸出O-Fitで開発したものです。火力発電所から出る石炭の灰を用いた複合プラスチック（FPC）の開発に成功し、建築現場などで使う敷板「エフエーボード」を製品化し、賞を頂きました。高強度で、紫外線などへの耐候性が高く、洪水でも流されにくいボードです。

その先に、木質プラスチック

（WPC）を作りました。きっかけは、台風により立派な杉の木が倒れている光景を見て、何かに使えないかと考えていると、間伐材と同じで木粉にするしかないと聞きました。プラスチック業界でも成形時に発生する大量の端材は、良質なのに再利用できません。県新世紀産業機構に相談し、県西部森林組合や大学などと連携して、木の風合いや香りが楽しめるWPCを開発しました。ウッドデッキなどに使われています。

他にも、アルミサッシの製造工程で出るアルミスラッジとの複合材で、難燃性の高いプラスチック材料（APC）も開発し、特許を取っています。

製造工程におけるCO₂の削減につながりますし、廃棄される未活用資源を地域内で活用することで、循環型社会の取り組みの一助となればと考えています。

— 誠実モットーに事業拡大—
経営理念を教えてください。

「つづけよう。かかわるすべての人々に感動と安心を与えることを！」です。お客様から依頼されるプラスチック部品を介して、人々の快適な暮らしの一助になれることに喜びを感じています。そのためにも品質基準を徹底し、お客様には良いものを提供し、かかわる人に安心と感動を届けていくため、日々努力しています。

略 歴

1953（昭和28）年高岡市生まれ。1976年東京理科大学理工学部卒業、富山軽金属(株)勤務を経て、1977年戸出化成(株)設立に参画し入社。取締役、専務を経て、2006年から代表取締役社長。

具体的にどのような取り組みをされていますか。

改善活動、5S、QCサークルの3つの活動を徹底して継続してきました。毎月、良い提案や活動に対して月間MVPを選び、さらに毎年1月には前年の年間MVPに金一封と副賞を出しています。

改善報告書は社員食堂に綴って置いておき、誰でも見られるようにしています。また、営業からの提案で、アルミサッシの完成品を展示し、作っている部品がどこに使われていて、どこに注意しなければならないかを一目で分かるようにしました。

現在、フィリピンからの実習生に来てもらっているのですが、彼女たちは明るく、元気に挨拶してくれます。会社に来たお客さんからの評判も良く、日本人の従業員の挨拶も良くなってきました。子育てサポートの「くるみん」認定を2回受けられています。

女性のために始まった会社なので、今も女性が多く、女性に優しい会社だと思います。3年に1回「家族見学会」を開催し、子供たちに、お父さんお母さんの職場を見てもらって喜ばれています。

今後の展望は。

少子高齢化の中で、今後従業員の確保が困難になると予測しています。また、内職をお願いしている部分も高齢化が進んでいます。新工場は、若い人が働きやすい魅



力的な環境整備を最優先に考えました。手作業に頼っていた部分の自動化も進めています。

さらに、金型製造では人件費が高騰する中国工場との取り引きを止めたことに加え、国内でも製造委託している協力会社の経営者の高齢化が深刻になっており、廃業するところも出てくると考えられます。後継者の育成に協力するとともに、自社でも金型の製造・メンテナンスができる体制を整え、企画設計から、金型、成形、組立、発送までの完全一貫生産ができる工場を目指して一歩踏み出そうと考えているところです。

座右の銘を教えてください。
「誠実」です。私が入社して間もない頃に、三協アルミニウム工業の当時の沖外夫社長から頂いた直筆の書を、今も社長室に掲げています。「何事にも誠実に対すれば、必ず報われる」と話して頂き、当社の発展の礎となった恩人の言葉です。誰に対しても誠実に応対することを心がけています。

会社概要

戸出化成株式会社

創 業：1967（昭和42）年
所 在 地：高岡市ICパーク12
資 本 金：9,800万円
事業内容：熱可塑性樹脂成形、金型製作、
複合樹脂材料製造販売
従業員数：100名（2020年12月現在）
売 上 高：20億400万円（2020年3月期）
事 業 所：西物流センター
関連会社：(有)アイデア通商、(株)戸出O-Fit
U R L：http://h-tkc.co.jp/



家族見学会の様子